



令和元年 11 月 5 日

各 位

会 社 名 株式会社テーオーシー
代表者名 代表取締役社長 大谷 卓男
(コード番号 8841 東証第一部)
問合せ先 取締役事務管理部門担当 石田 雅彦
(TEL 03-3494-2111)

剰余金の配当（中間配当）の決定及び期末配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、令和元年 11 月 5 日開催の取締役会において、令和元年 9 月 30 日を基準日とする剰余金の配当を修正（増配）することを決議しました。また、期末配当予想についても修正いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 中間配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (令和元年 5 月 14 日公表)	前期実績 (平成 31 年 3 月期 第 2 四半期)
基準日	令和元年 9 月 30 日	同左	平成 30 年 9 月 30 日
1 株当たり配当金	5 円 00 銭	4 円 50 銭	4 円 50 銭
配当金総額	482 百万円	—	460 百万円
効力発生日	令和元年 12 月 6 日	—	平成 30 年 12 月 7 日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

2. 配当予想修正の内容

基準日	1 株当たり配当金		
	第 2 四半期末	期末	年間
前回予想 (令和元年 5 月 14 日公表)	4 円 50 銭	4 円 50 銭	9 円 00 銭
今回予想		5 円 00 銭	10 円 00 銭
当期実績	5 円 00 銭		
前期実績 (平成 31 年 3 月期)	4 円 50 銭	4 円 50 銭	9 円 00 銭

3. 理由

当社の利益配分につきましては、業績の推移を見据え、将来の事業の発展と経営基盤の強化のための内部留保に意を用いつつ、経営成績や配当性向等を総合的に勘案し、安定的かつ継続的な配当を維持することを基本方針としております。

上記の方針は今後も変わりませんが、中間配当につきましては、自己株式取得により、一株当たり当期純利益が増加傾向にあることから、直近の配当予想に50銭を加えた1株当たり5円とすることといたしました。

また、期末配当予想につきましても前回予想に50銭増配の1株当たり5円に修正することといたしました。

この結果、令和2年3月期の年間配当予想は、1株当たり10円（1円の増配）を予定しております。

以上